



フォルクスワーゲン T1をつくる

# Volkswagen T1

The famous  
Volkswagen Van in  
the Samba version

Pack  
**24**







# フォルクスワーゲン T1をつくる **Volkswagen T1**

The famous  
Volkswagen Van in  
the Samba version

<b>STAGE111</b>	<b>サイドインテリア(左).....</b>	<b>441</b>
<b>STAGE112</b>	<b>テールライト、後部コーナーウィンドウ、配線 ...</b>	<b>445</b>
<b>STAGE113</b>	<b>ルーフウィンドウとバスの組み立て.....</b>	<b>449</b>
<b>STAGE114</b>	<b>ステアリングシステム.....</b>	<b>453</b>
<b>STAGE115</b>	<b>電気システムの点検とルーフラック(1) ...</b>	<b>457</b>



Official Licensed  
Product

© Volkswagen, 2025

Trademarks, design patents and copyrights are used  
with the approval of the owner, Volkswagen AG

Published/Distributed and Licensed by EDITORIAL PLANETA / DEAGOSTINI, S.A.



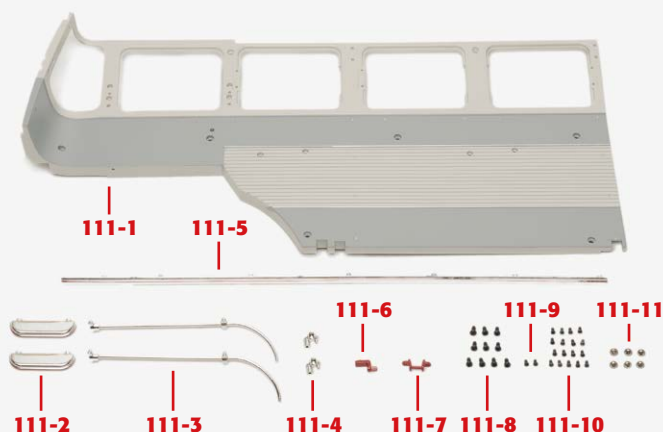


## サイドインテリア (左)

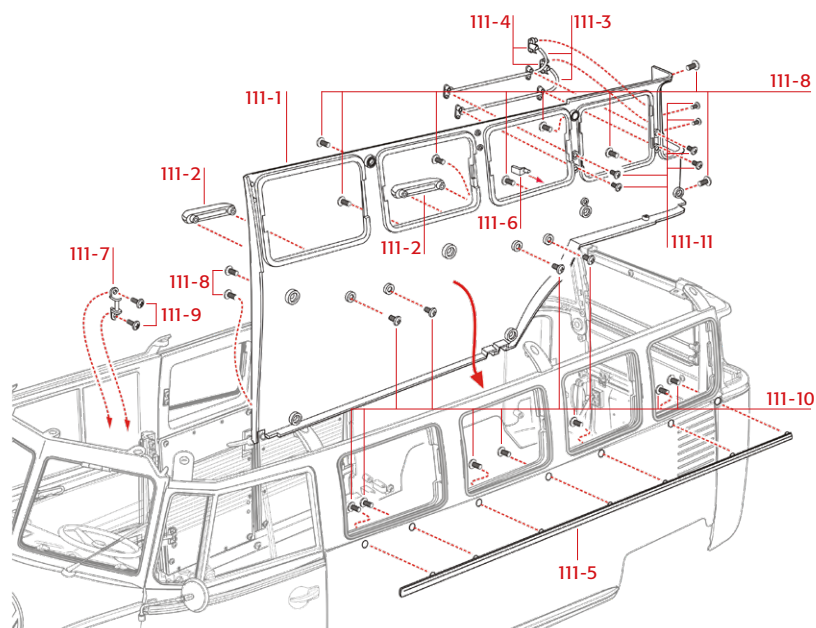
本ステージの提供パーツを使い、サイドインテリア(左)、バー、サイドトリム(左)をボディに取り付ける。

### 本ステージのパーツ

- 111-1** サイドインテリア(左)
- 111-2** アームレスト
- 111-3** バー
- 111-4** バーブラケット
- 111-5** サイドトリム(左)
- 111-6** リアシートストッパー
- 111-7** ドアストッパー  
ストラップホルダー
- 111-8** BD04ネジ(2.3×4.0mm)
- 111-9** BD08ネジ(1.8×3.0mm)
- 111-10** BP09ネジ(1.8×3.0mm)
- 111-11** BP12ネジ(1.8×3.0 Ø4.5mm)

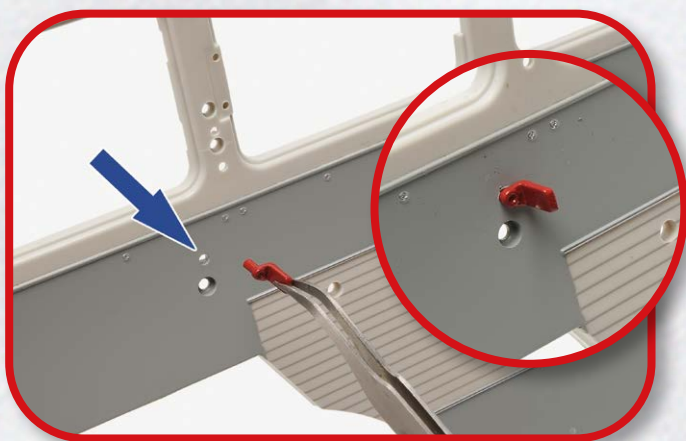


### 組立図



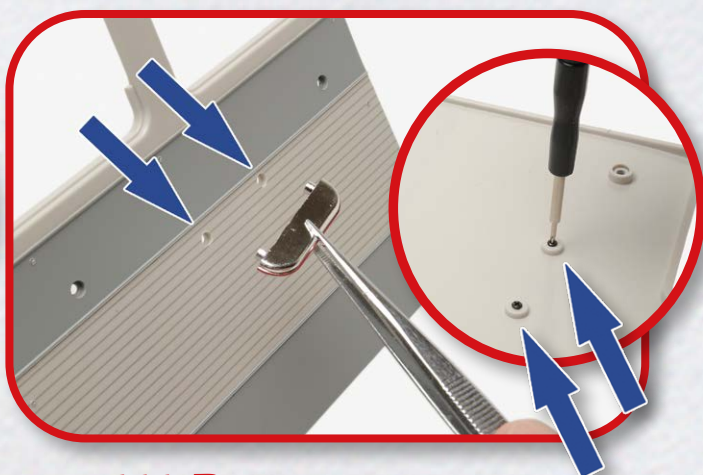
※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

## サイドインテリア(左)



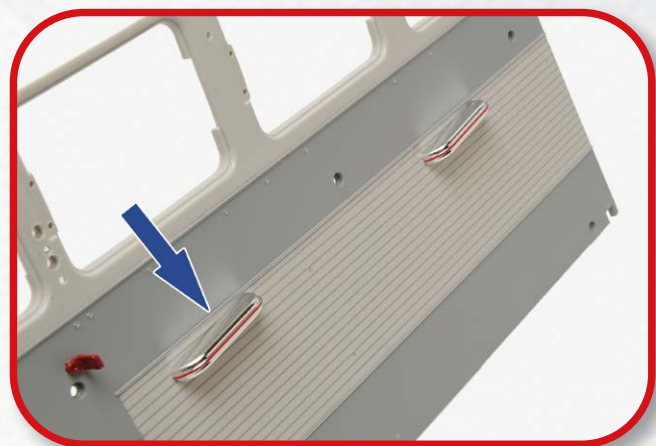
### STEP 111-A

リアシートストッパー(111-6)をサイドインテリア(左)(111-1)の写真の穴に差し込み、丸い写真のように正しく取り付けられていることを確認する。穴は半円形のため、正しい向きでしか取り付けられない。



### STEP 111-B

アームレスト(111-2)の1つをサイドインテリア(左)(111-1)の写真の穴に差し込み、内側からBP09ネジ(111-10)2本で固定する。



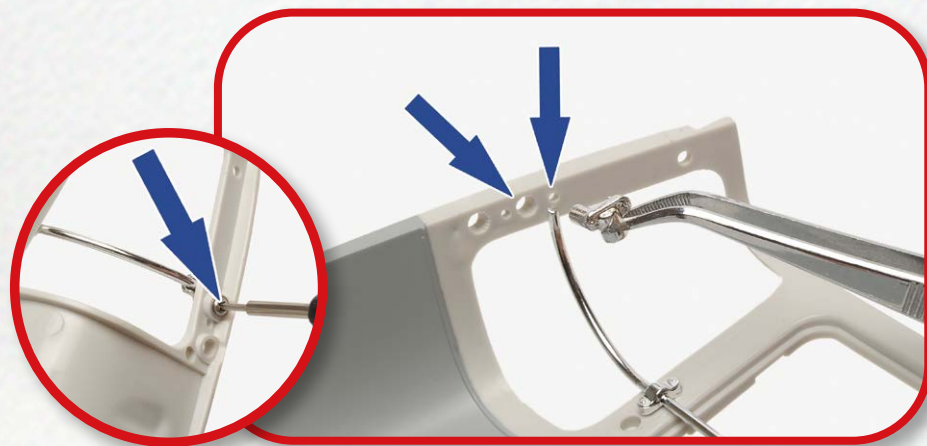
### STEP 111-C

同様に、もう1つのアームレスト(111-2)を写真の位置に取り付ける。



### STEP 111-D

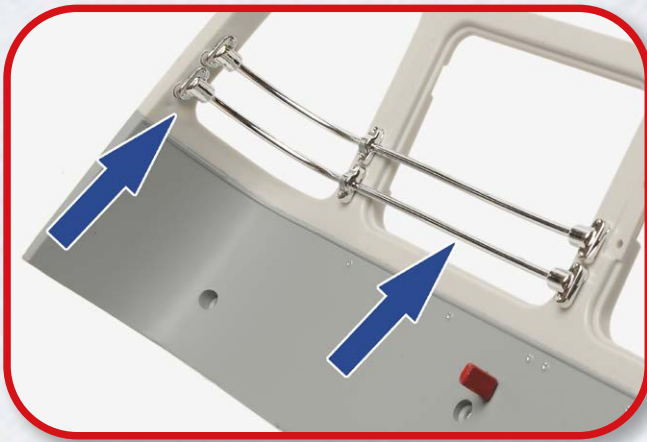
次に、バー(111-3)の支柱をサイドインテリア(左)の後方の写真の穴(上段)に差し込み、裏側からBP12ネジ(111-11)2本で固定する。



### STEP 111-E

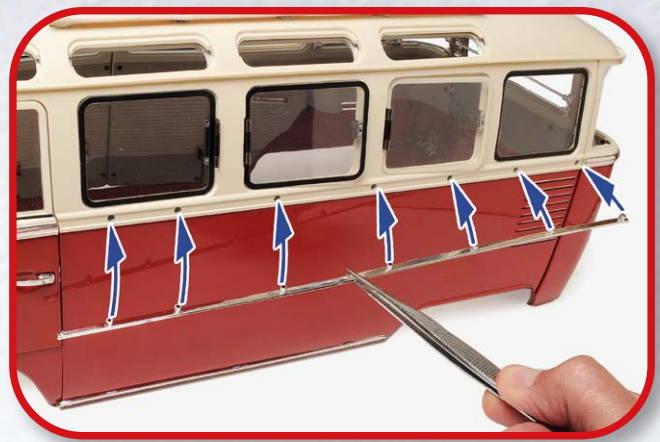
バーの端部を固定するために、バーブラケット(111-4)の1つをサイドインテリア(左)の後方の写真の穴に差し込み、裏側からBP12ネジ(111-11)で固定する。





### STEP 111-F

同様に、もう1つのバー(111-3)とプロテクションバーブラケット(111-4)を下段の穴に取り付ける。

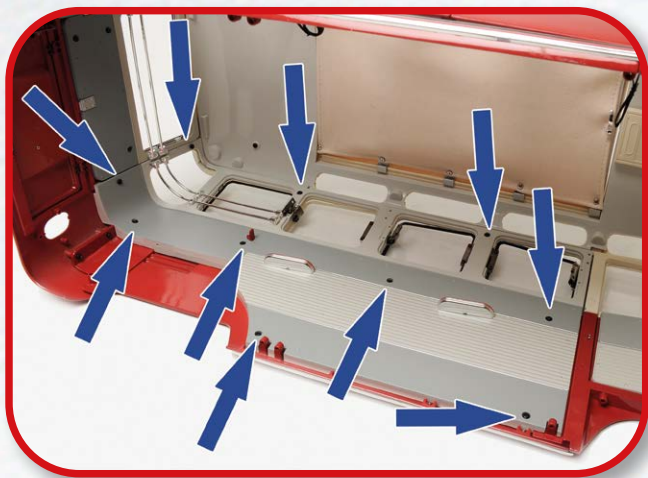
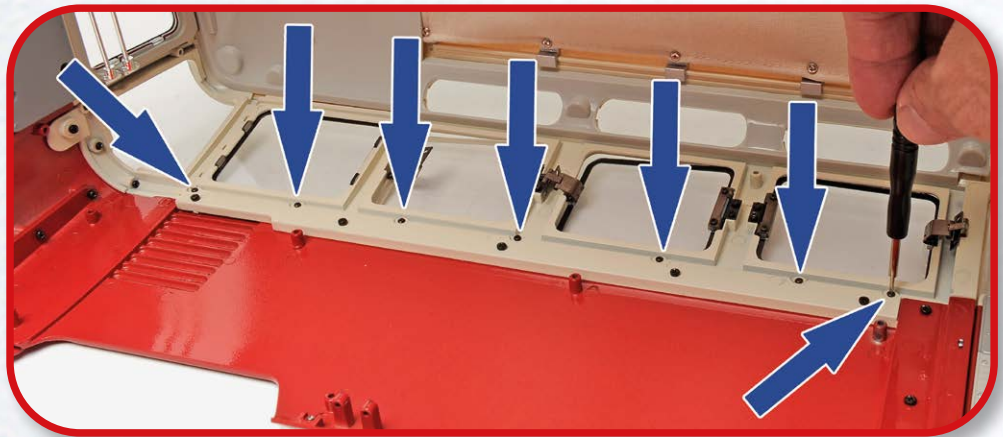


### STEP 111-G

サイドトリム(左)(111-5)をボディ左側のウィンドウ下の写真の穴に差し込む。

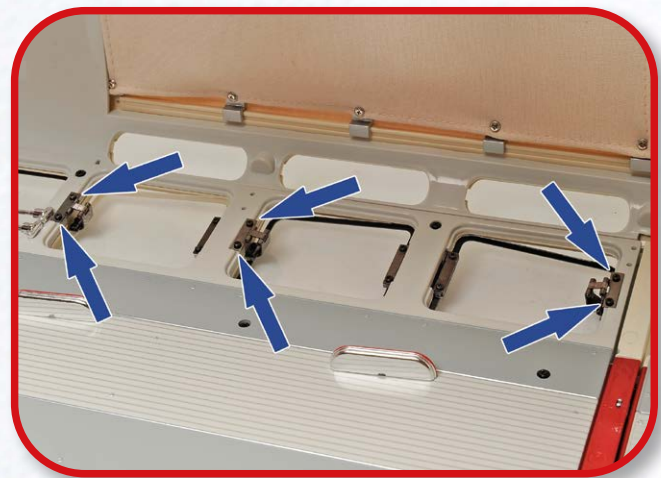
### STEP 111-H

内側からBP09ネジ(111-10)7本でトリムを固定する。



### STEP 111-I

次にサイドインテリア(左)パーツをボディの内側に配置し、BD04ネジ(111-8)10本で固定する。



### STEP 111-J

ウィンドウラッチをBP09ネジ(111-10)6本で固定する。



## サイドインテリア(左)

### STEP 111-K

最後に、ドアストップ  
パーストラップホル  
ダー(111-7)をドアス  
トラップのループ部  
分に通し、BD08 ネジ  
(111-9) 2本でボディ  
に固定する。



サンルーフの最終的な色は、プロトタイプ  
の画像から変更され、モデルのインテリアに  
より調和するよう調整されました。

本ステージの  
完成

サイドトリム(左)とサイド  
インテリア(左)を取り付  
けたボディ。

## 車両パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲン  
オートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。





# テールライト、 後部コーナーウィンドウ、配線

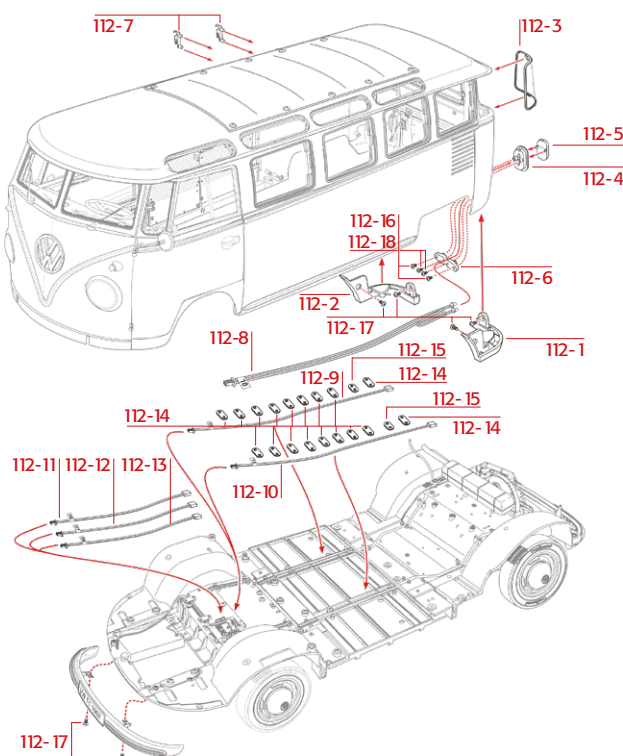
本ステージでは、ボディにテールライト、後部コーナーウィンドウを取り付け、シャーシにフロントバンパーとボディの各電気部品を接続するための配線を設置する。

## 本ステージのパーツ

- 112-1** シャーシサポート(左)
- 112-2** シャーシサポート(右)
- 112-3** 後部コーナーウィンドウ(左)
- 112-4** テールライト(左)
- 112-5** テールライトレンズ(左)
- 112-6** テールライトホルダー(左)
- 112-7** フック
- 112-8** テールライトLED(左)
- 112-9** 配線09
- 112-10** 配線10
- 112-11** 配線06
- 112-12** 配線07
- 112-13** 配線08
- 112-14** 配線用タブ
- 112-15** 配線用タブ(小)
- 112-16** BD08ネジ(1.8×3.0mm)
- 112-17** BD09ネジ(2.3×3.0 Ø5.5 mm)
- 112-18** BP09ネジ(1.8×3.0mm)



## 組立図



※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



## テールライト、後部コーナーウィンドウ、配線



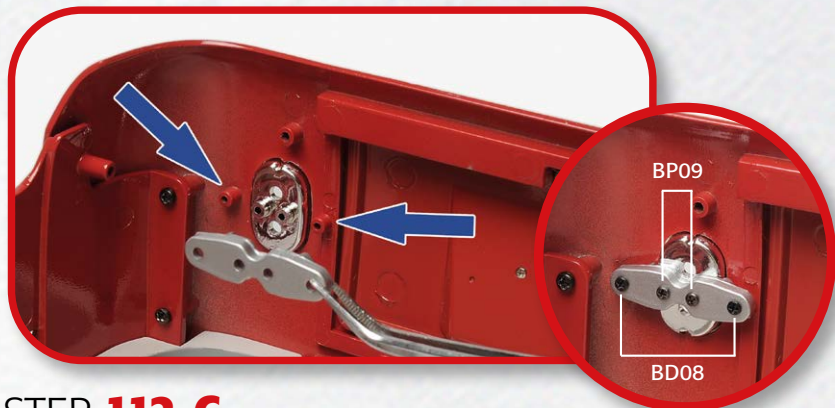
### STEP 112-A

後部コーナーウィンドウ(左) (112-3)の上部のタブを写真のハウジングに差し込み、下部を押してしっかりとめ込む。



### STEP 112-B

ボディを裏返し、写真で位置と向きを確認してテールライト(左) (112-4)を取り付ける。



### STEP 112-C

次に、ボディの内側の写真の位置にテールライトホルダー(左) (112-6)を配置し、テールライトホルダーの穴とテールライト、ボディの穴を合わせる。中央の穴をBP09ネジ(112-18)2本、両端の穴をBD08ネジ(112-16)2本で固定する。



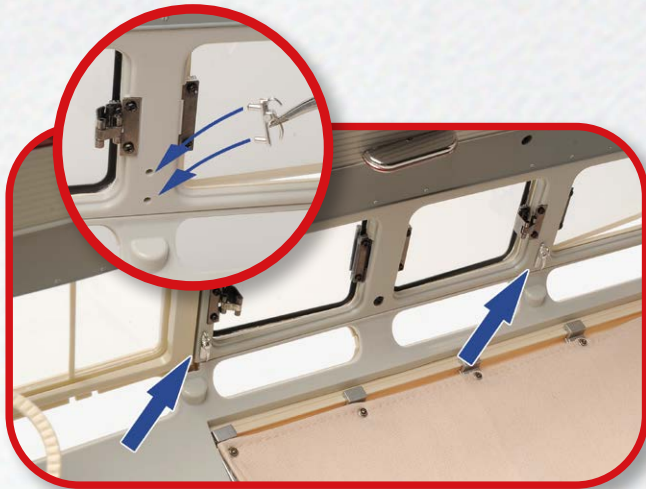
### STEP 112-D

次に、ボディの外側からテールライトレンズ(左) (112-5)をハウジングにしっかりと押し込む。



### STEP 112-E

テールライトLED(左) (112-8)を写真の穴に差し込み、テールライト(左)の取り付けを完了する。ケーブルのはんだ付け部分を損傷しないよう、取り扱いには十分注意する。



### STEP 112-F

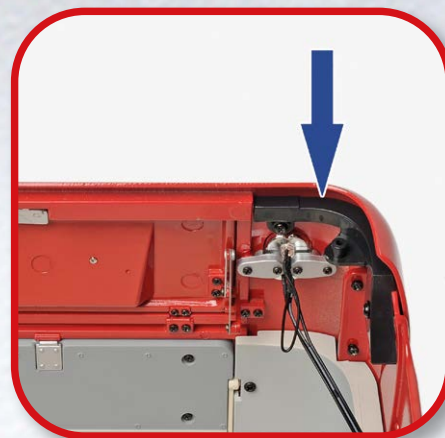
ボディを裏返したまま、写真で位置と向きを確認してフック(112-7)2個を取り付ける。





### STEP 112-G

シャーシサポート(左) (112-1)をボディの左側後部の写真のピンに合わせて配置し、BD09ネジ(112-17)2本で固定する。



### STEP 112-H

同様に、シャーシサポート(右) (112-2)を右側後部に取り付け、BD09ネジ(112-17)2本で固定する。



### STEP 112-I

ステージ3で組み立てたフロントバンパーパーツを用意し、丸い画像のようにシャーシ前方の下部に取り付け、BD09ネジ(112-17)2本で固定する。

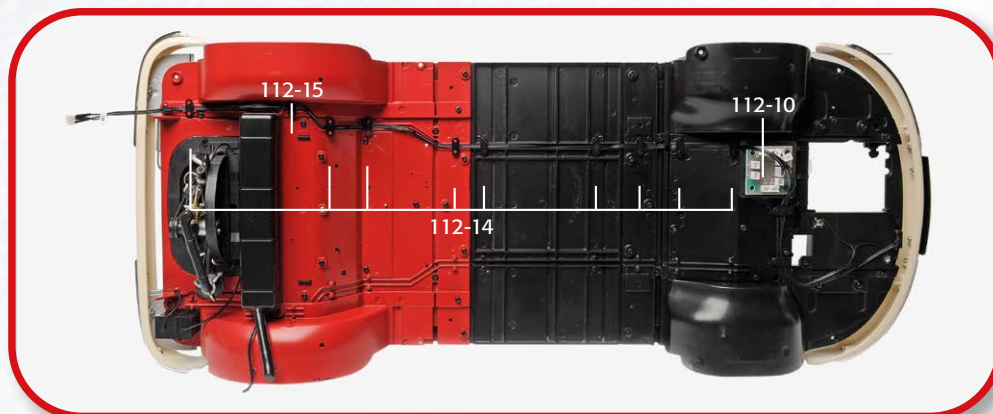


### STEP 112-J

配線10(112-10)のコネクターを、シャーシに取り付けた回路基板の10番のハウジングに差し込む。ケーブルのコネクターには極性があるため、1方向でしかハウジングに差し込めない。

### STEP 112-K

図のように、ケーブルをシャーシ左側の溝に沿って通し、配線用タブ(112-14)9個と配線用タブ(小)(112-15)で固定する。

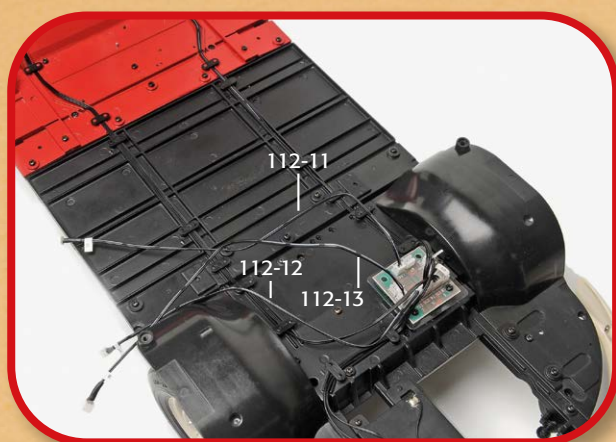
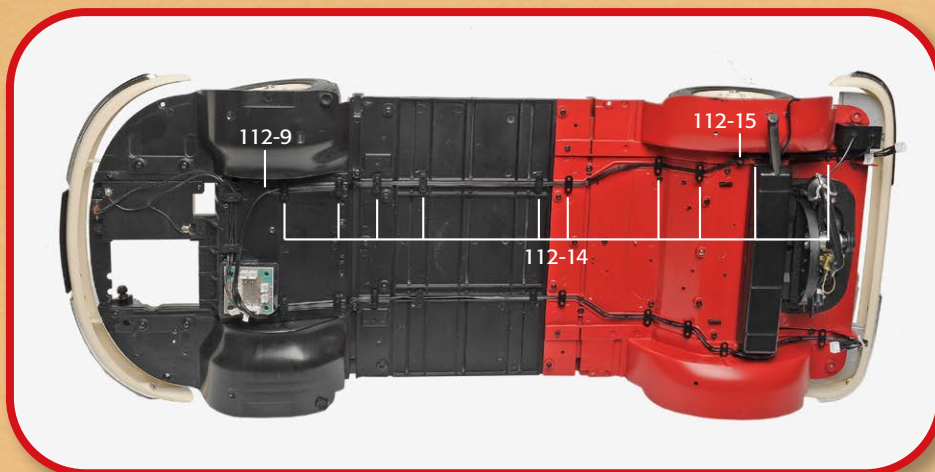




## テールライト、後部コーナーウィンドウ、配線

### STEP 112-L

同様に、配線09(112-9)のコネクターを、回路基板の9番のハウジングに差し込み、配線用タブ(112-14)9個と配線用タブ(小)(112-15)で固定する。



### STEP 112-M

最後に、配線06(112-11)、配線07(112-12)、配線08(112-13)を、回路基板の同じ番号のハウジングに差し込む。

### 本ステージの完成

テールライト、後部コーナーウィンドウを取り付けたボディと、フロントバンパーと配線を取り付けたシャーシ。

### 車両パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。





# ルーフウィンドウと バスの組み立て

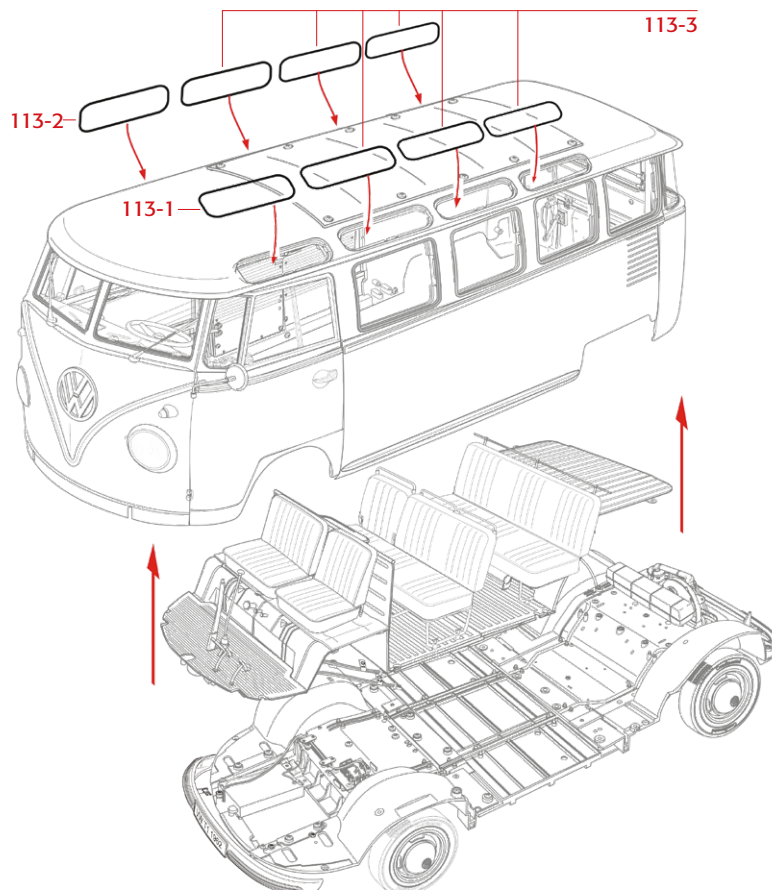
本ステージでは、ルーフウィンドウを取り付け、バスの3つの主要パーツ(ボディ、キャビン、シャーシ)を組み合わせる。これでサンババスの組み立てが完了し、ステアリングシステムとアクセサリーの取り付けのみを残す状態となる。

## 本ステージのパーツ

- 113-1** ルーフウィンドウ(前・左)
- 113-2** ルーフウィンドウ(前・右)
- 113-3** ルーフウィンドウ(その他)
- 113-4** BD04ネジ(2.3×4.0mm)
- 113-5** BP04ネジ(2.3×4.0mm)



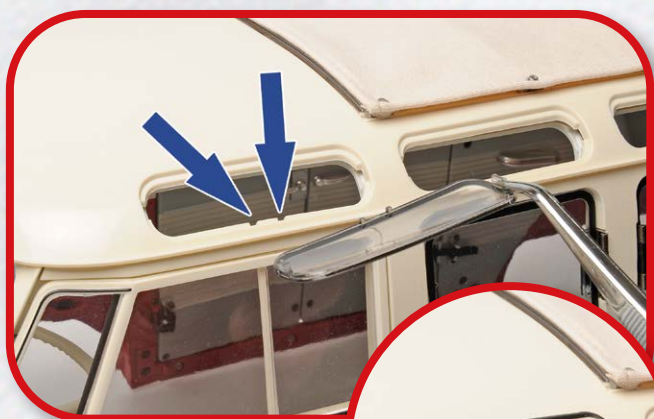
## 組立図



※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



## ルーフウィンドウとバスの組み立て



### STEP 113-A

ルーフウィンドウ(前・左)  
(113-1)の下部には写真の窓  
枠の切り欠きと一致する突起が  
2つあることを確認し、ウィンドウを  
しっかりと押し込む。



### STEP 113-B

次に、ルーフウィンドウ  
(前・右) (113-2)の下部に  
は写真の切り欠きと一致する突  
起が1つだけあることを確認し、ウィ  
ンドウをしっかりと押し込む。

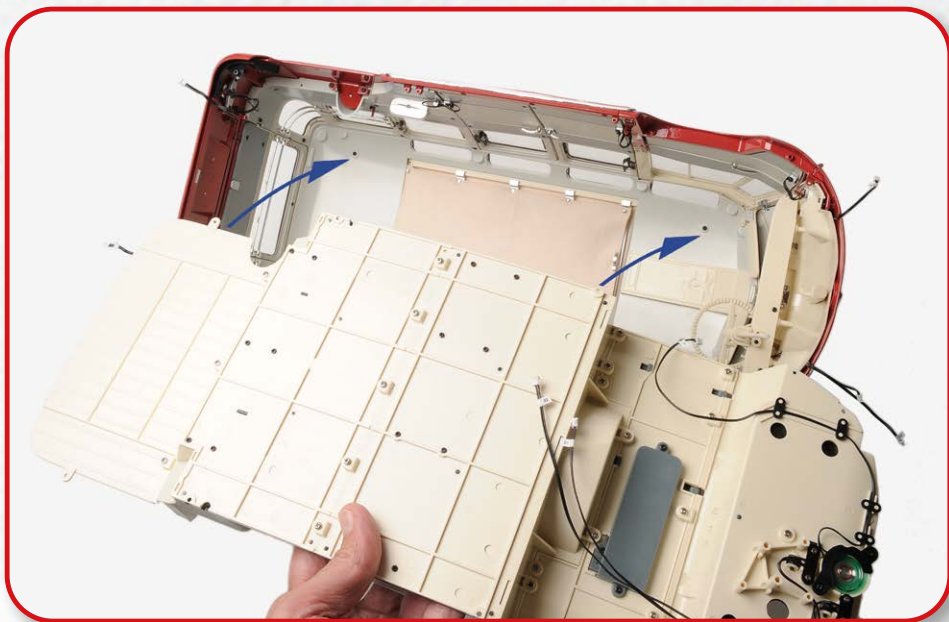
### STEP 113-C

残りの窓枠にルーフウィンド  
ウ(その他) (113-3)を取り  
付ける。これらのウィンドウ  
には下部の突起はなく、側面  
にのみ突起がある。突起のサ  
イズは異なるため一方向にし  
か取り付けられない。



### STEP 113-D

次に、ボディを裏返して作業  
台に置き、キャビンパーツを  
ボディに差し込む。このとき、  
キャビンやボディの配線を損  
傷しないよう十分注意する。

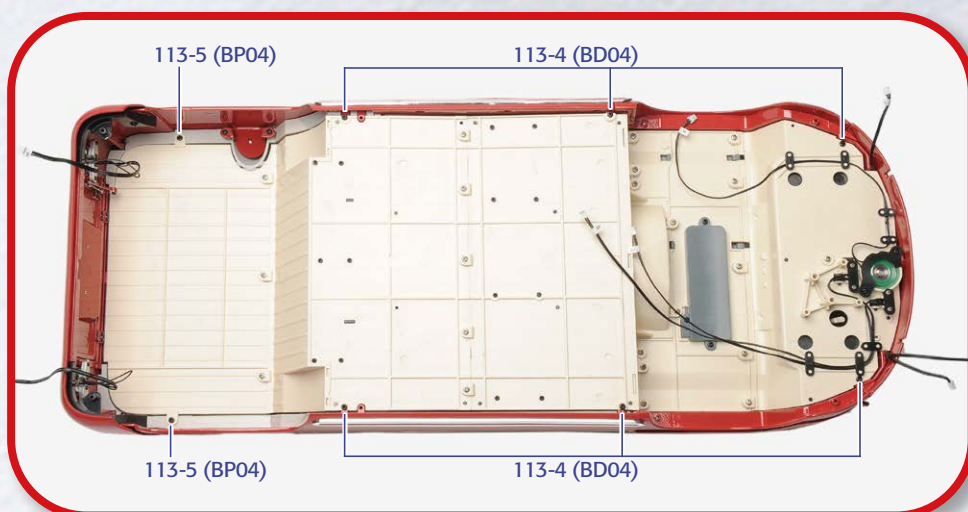






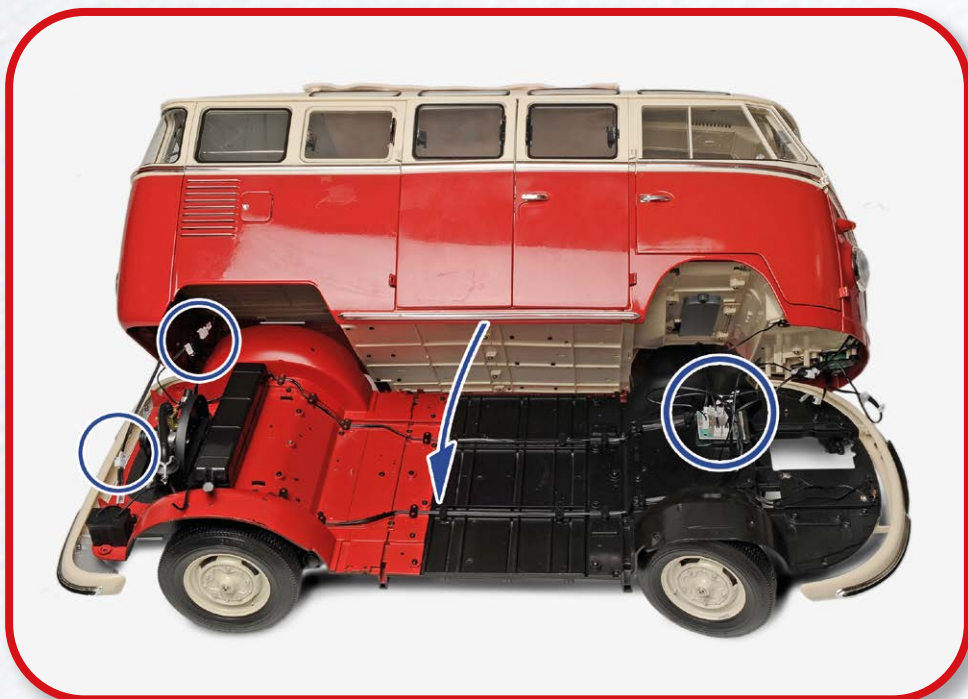
## STEP 113-E

キャビンが正しく取り付けられていることを確認し、写真のように、後部をBP04ネジ(113-5)2本で、中央と前部をBD04ネジ(113-4)6本で固定する。



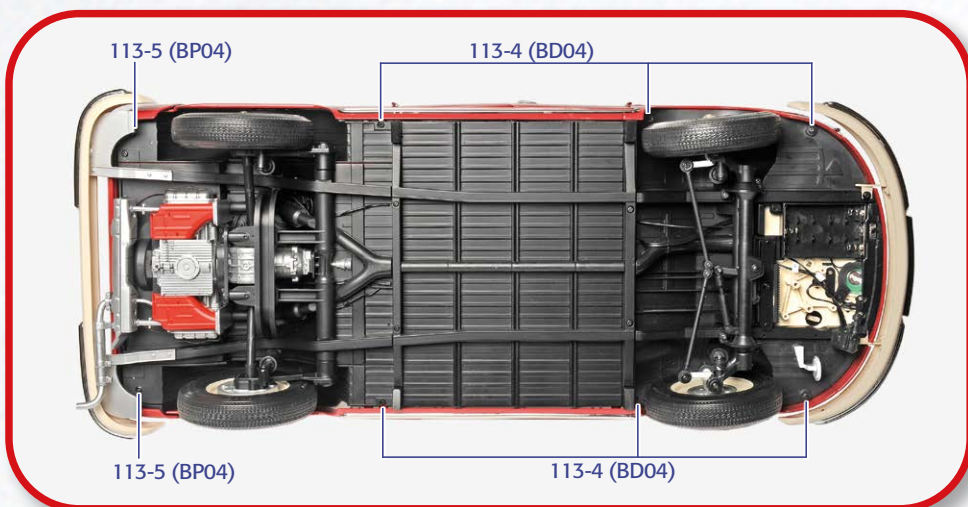
## STEP 113-F

次に、シャーシパーツを用意し、ボディとキャビンの配線をシャーシの配線と回路基板のハウジングに接続する。このとき、配線の番号が一致し、回路基板の番号とも一致していることを確認する。ただし、例外として、配線01は回路基板の2番のハウジングに、配線02は1番のハウジングに差し込む。



## STEP 113-G

最後に、シャーシパーツをボディに取り付け、リアバンパーのサポート下をBP04ネジ(113-5)2本で、中央と前部をBD04ネジ(113-4)6本で固定する。そのうち2本は、写真のようにフロントホイールアーチ内に取り付ける。





## ルーフウィンドウとバスの組み立て



サンルーフの最終的な色は、プロトタイプ  
の画像から変更され、モデルのインテリアに  
より調和するよう調整されました。

## 本ステージの完成

ボディ、キャビン、シャーシを組み立てたサンババス。

## 車両パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲン  
オートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。





# ステアリングシステム

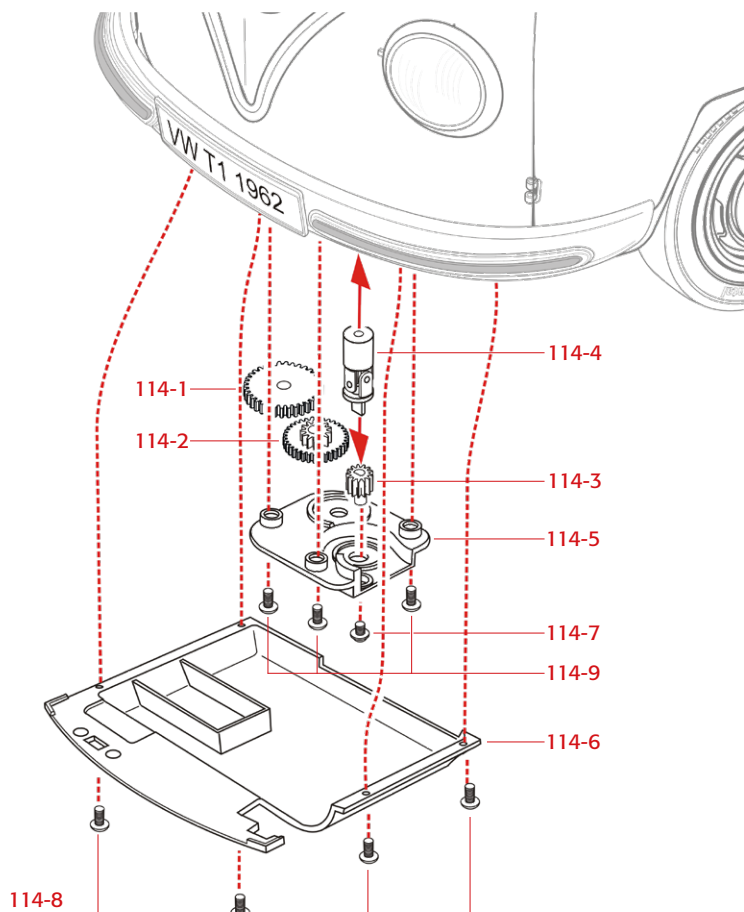
本ステージでは、ステアリングラックに作用するギアを取り付ける。このシステムは、オリジナル車両のステアリングシステムのギア比を再現することで、ステアリングホイールで実際に車輪を動かせるようにする。

## 本ステージのパーツ

- 114-1 ギア(大)
- 114-2 ギア(小)
- 114-3 ピニオン
- 114-4 ジョイント
- 114-5 ギアケース
- 114-6 フロント下部カバー
- 114-7 BD10ネジ(1.8×3.0mm)
- 114-8 BD03ネジ(1.8×3.5mm)
- 114-9 BP04ネジ(2.3×4.0mm)



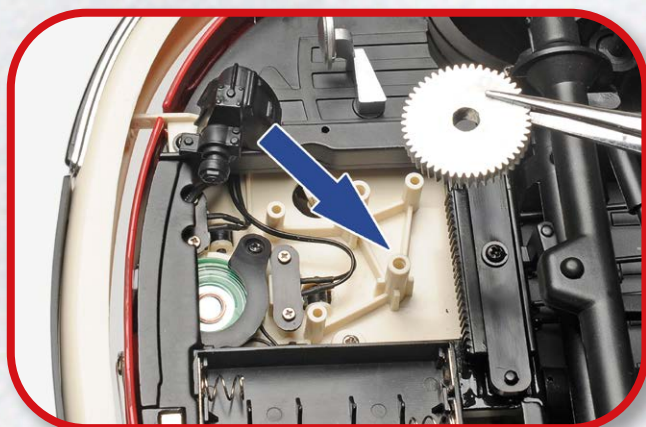
## 組立図



※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



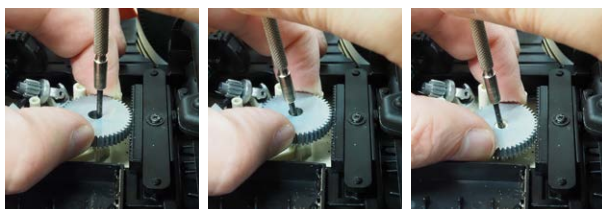
## ステアリングシステム



### STEP 114-A

ルーフを破損しないよう注意しながらバスを裏返し、ギア(大) (114-1)をシャーシ前方の写真の支柱に配置し、歯がステアリングラックの歯と噛み合うようにする。

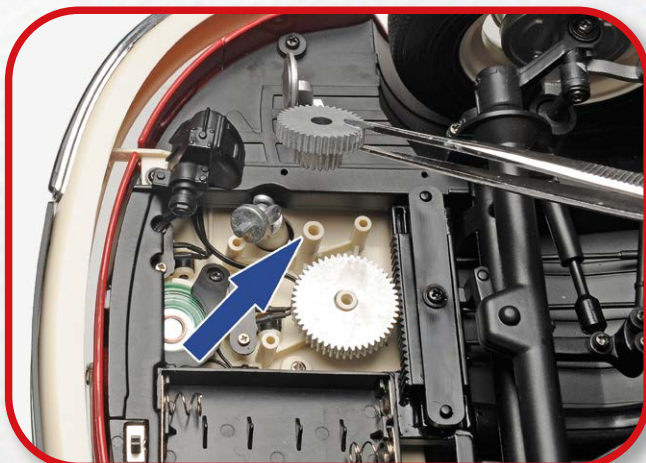
※ギア(大)が支柱に嵌りづらい場合は、下記の手順で嵌めてみる



①ギアと支柱の穴を合わせたら、軸の細いドライバーを支柱の穴に差し込む。

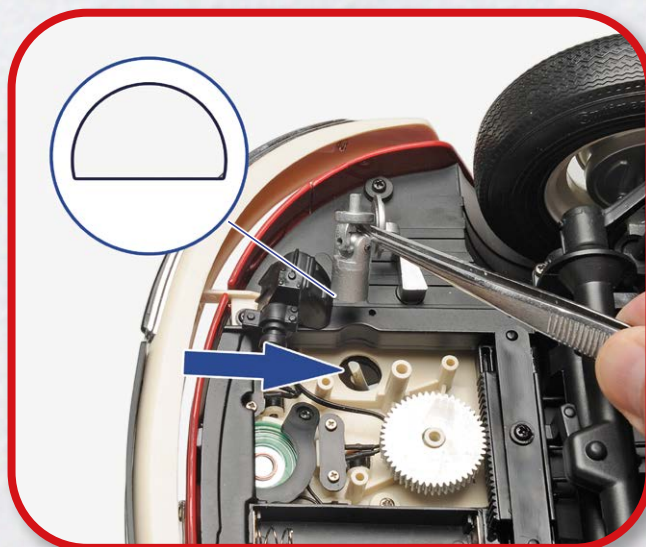
②ドライバーをステアリングラックと反対の方へ倒す。

③ドライバーを倒したまま、ギアを押し込む。  
※支柱を折らないように気をつけること。



### STEP 114-C

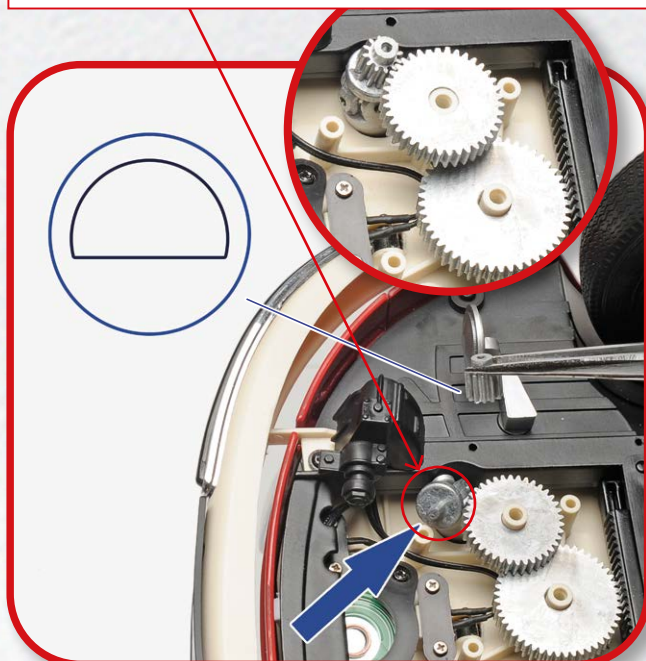
ギア(小) (114-2)を写真の支柱に取り付ける。このとき、ギア(小)はサイズの異なる2つのギアで構成されているが、小さい方の歯が先に取り付けたギア(大)の歯と噛み合うようにする。



### STEP 114-B

次に、ステアリングコラムにジョイント(114-4)を取り付ける。ジョイントの穴は半円形で、ステアリングコラムの端部にぴったり合うようになっている。

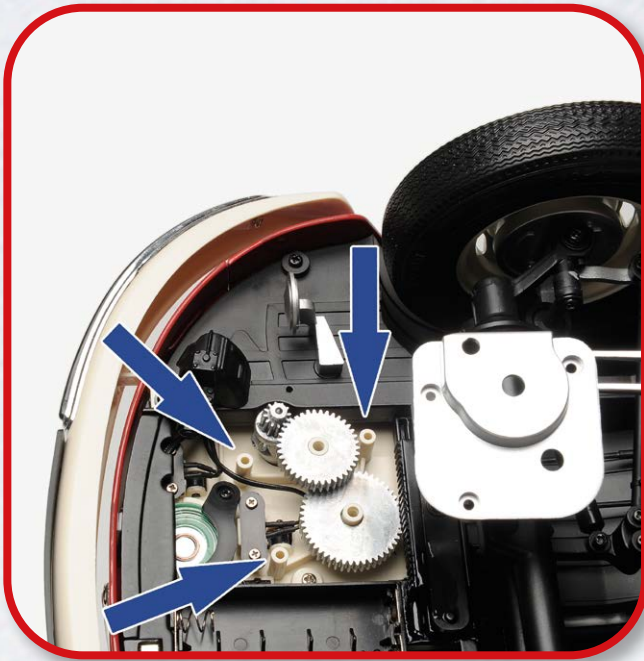
※STEP114-Bの段階で、ピニオンがジョイントの奥まで挿し込めるかを確認しておくといよい。奥まで挿し込めない場合には、ジョイントの突起部凸を平金ヤスリで削って奥まで取り付けられるように調整する。



### STEP 114-D

ステアリングホイールが正しい位置、つまり、まっすぐな状態であることを確認し、ピニオン(114-3)をジョイントの写真の支柱に取り付ける。ピニオンの穴は半円形のため、一方向にしか取り付けられない。





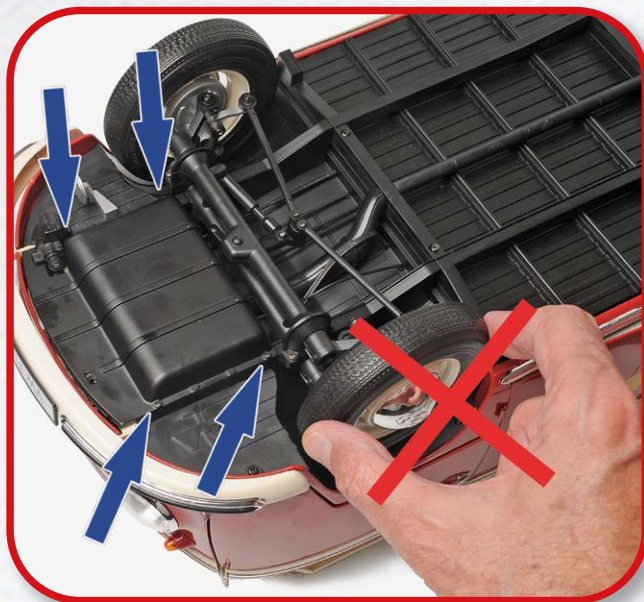
### STEP 114-E

ギアケース(114-5)をギアの上に配置し、写真の突起と穴を合わせる。



### STEP 114-F

写真のように、ギアケースをBP04ネジ(114-9)3本で固定し、カバーの上からピニオンの端部をBD10ネジ(114-7)で固定する。



### STEP 114-G

フロント下部カバー(114-6)を取り付け、BD03ネジ(114-8)4本で固定する。注意：加えた圧力によりステアリングシステムのパーツが破損する恐れがあるため、この時点から手で車輪を動かさないことが重要である。



### STEP 114-H

バスの車輪は、ステアリングホイールを使用してのみ回転させる。



## ステアリングシステム



サンルーフの最終的な色は、プロトタイプ  
の画像から変更され、モデルのインテリアによ  
り調和するよう調整されました。

## 本ステージの完成

ステアリングシステムを取り付けたサンババス。

### 車両パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲン  
オートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。



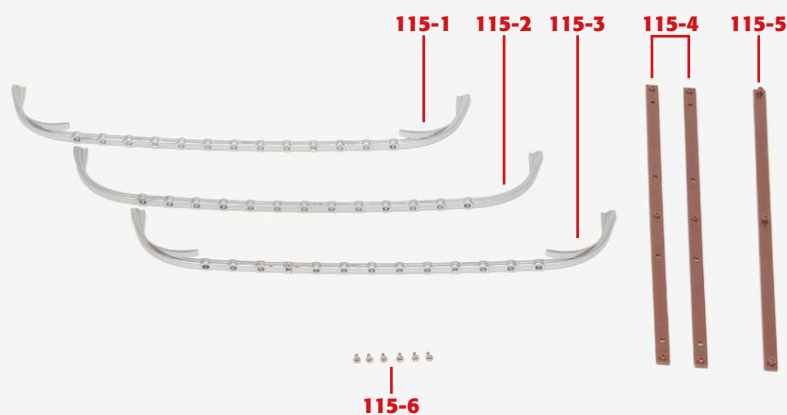


# 電気システムの点検と ルーフラック (1)

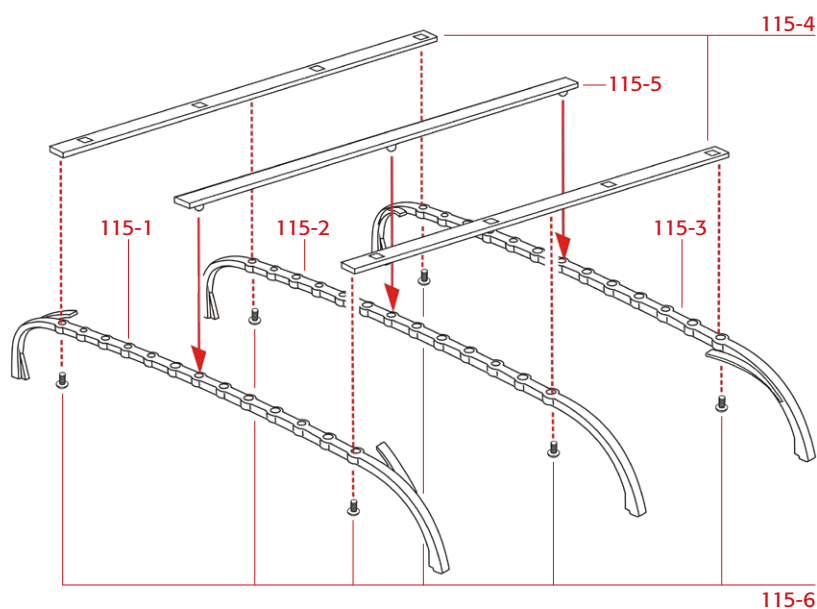
本ステージでは、電気システムの動作を確認し、サンバの最終的な外装アクセサリーの取り付けを開始する。最初のアクセサリーはルーフラックで、バンのルーフに取り付ける。

## 本ステージのパーツ

- 115-1** 横バー(A)
- 115-2** 横バー(B)
- 115-3** 横バー(C)
- 115-4** 縦バー(1)
- 115-5** 縦バー(2)
- 115-6** BP01ネジ(1.2×3.5mm)



## 組立図



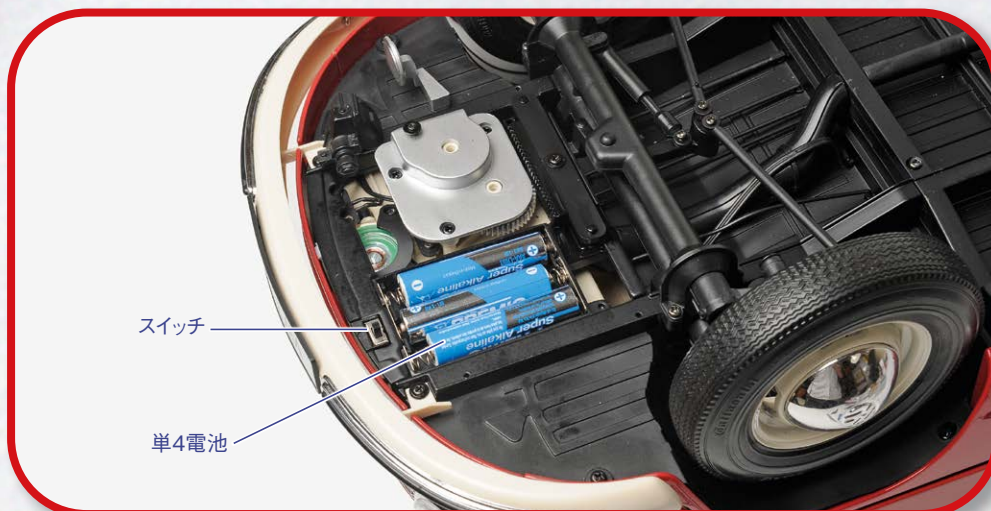
※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



## 電気システムの点検とルーフラック(1)

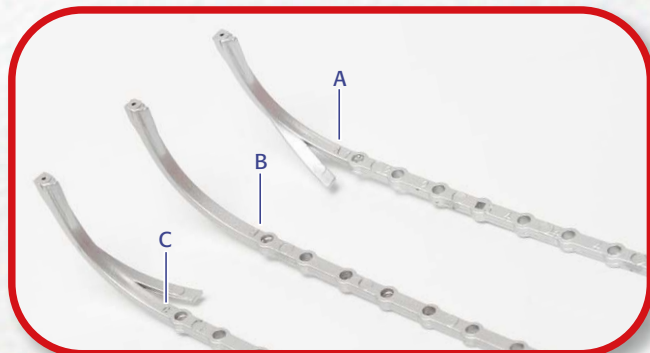
### STEP 115-A

ステアリングシステムを取り付けると、サンババスの電気システムに電源を供給できる。ルーフを破損しないよう注意しながらバスを裏返し、フロント下部カバーを取り外して単4電池(1.5V)3本をセットし、メインスイッチをオンにする。



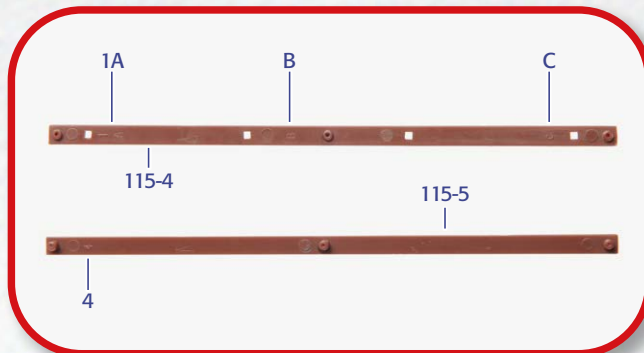
### STEP 115-B

メインスイッチをオンにすると、ヘッドライトとテールライトが点灯する。スイッチを押すとクラクションが鳴り、ブレーキペダルを踏むとリアブレーキランプが点灯し、アクセルペダルを踏むとエンジン音が鳴る。



### STEP 115-C

次に、ルーフラックの横バー(A) (115-1)、横バー(B) (115-2)、横バー(C) (115-3)をよく確認する。各バーには識別用の文字が刻印されており(横バー(A)には穴にも番号の刻印あり)、これらは縦バーを正しく取り付けるための目印となる。



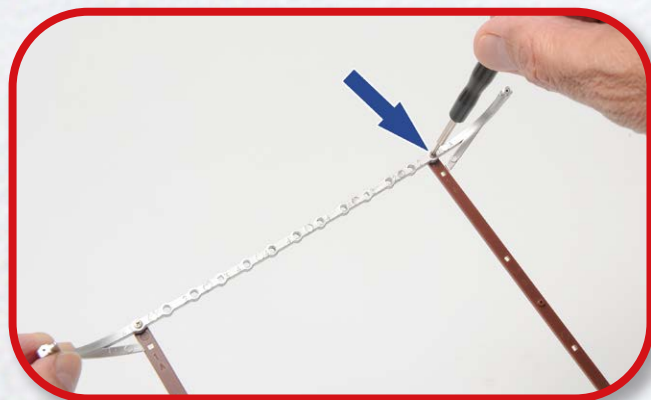
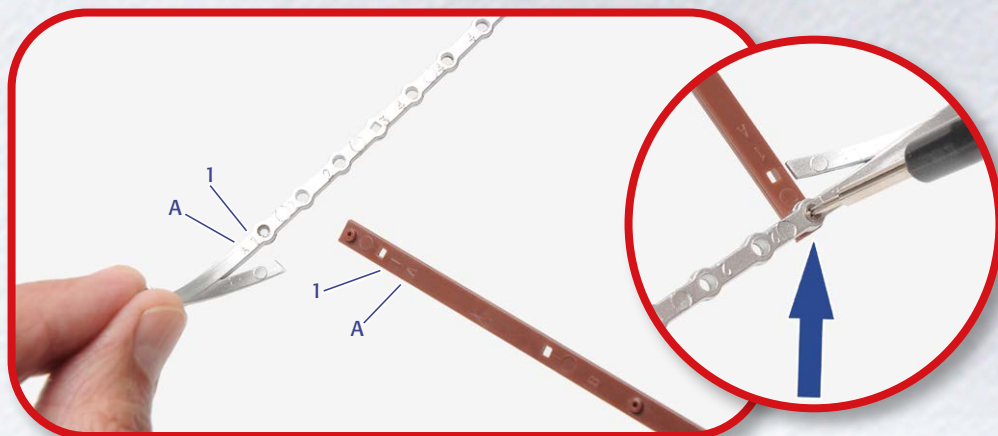
### STEP 115-D

次に、縦バー(1) (115-4)と縦バー(2) (115-5)をよく確認する。各バーの内側には横バー上の位置を示す英数字が刻印されている。



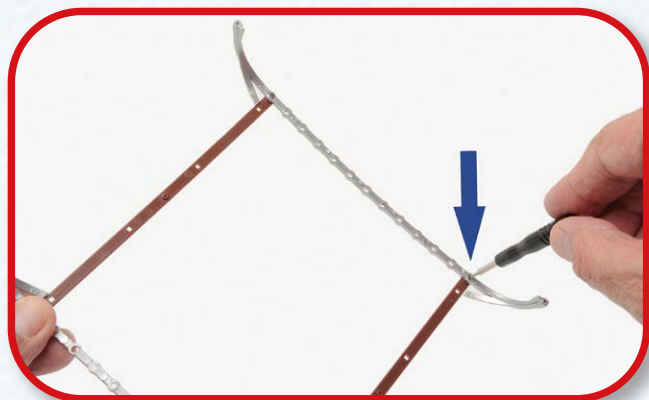
## STEP 115-E

写真のように、縦バー(1) (115-4)の突起を横バー(A) (115-1)の穴に差し込み、BP01 ネジ (115-6)で固定する。



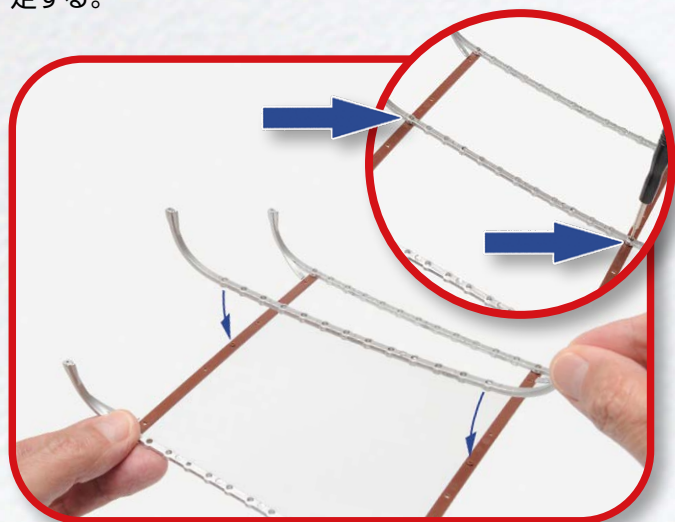
## STEP 115-F

同様に、もう1本の縦バー(1) (115-4)を横バー(A) (115-1)の反対側に合わせ、BP01 ネジ(115-6)で固定する。



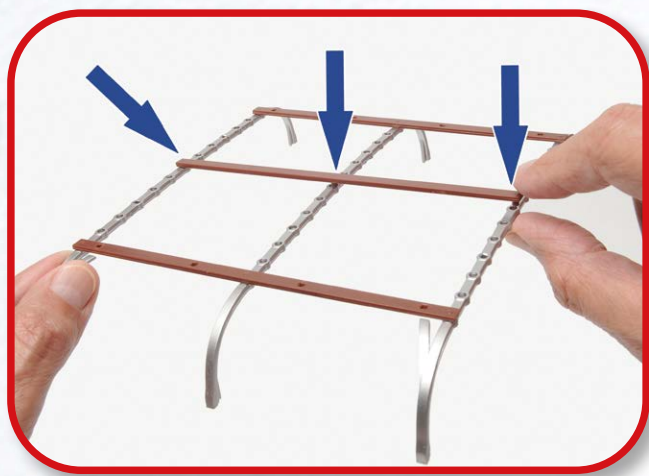
## STEP 115-G

次に、横バー(A)に取り付けた縦バー(1)の反対側に、横バー(C) (115-3)を取り付け、BP01ネジ(115-6) 2本で固定する。



## STEP 115-H

次に、2本の縦バーの中央に横バー(B) (115-2)を配置し、縦バーの中央の突起を横バーの穴に差し込み、BP01ネジ(115-6) 2本で固定する。



## STEP 115-I

最後に、パーツを裏返し、縦バー(2) (115-5)の突起を横バーの中央の穴に差し込みむ。



## 電気システムの点検とルーフラック(1)



### 本ステージの完成

縦バーを取り付けたルーフラック。

### 車両パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。